

# 南海高野線 学文路駅 (橋本市) ~ 金剛峯寺 (高野町)

歩行距離 7km  
標準歩行時間 2時間20分  
標準所要時間 4時間40分  
(標準所要時間は観光、休憩を含めた時間)

学文路駅から東に少し戻り、坂道を上っていくと、本格的な山の中を歩くハイキングコースです。街道の途中には、石童丸の物語で知られる学文路刈萱堂があり、このあたりは、紀の川沿いの市街地を一望できます。加根を抜け、さらに坂道を上ると、静かな山の中に日本最後の仇討ちの黒石と殉難七士の墓を見つけられます。これを過ぎると、もう一息で高野街道の終点の女人堂です。



日本最後の仇討ち



河根丹生神社



殉難七士の墓



女人堂



町石

## 日本最後の仇討ち

高野山に最も近い宿場である神谷の黒石付近で、明治4年2月30日(旧暦)に仇討ちがありました。播州赤穂藩であったお家騒動がその発端で、明治6年、政府がこの事件をきっかけに、復讐禁止令を出し仇討ちを禁じたことから日本最後の仇討ちとされています。討たれた7人の遺体は地元の人によって丁寧に葬られ、殉難七士の墓として今も神谷地区に残されています。

## 女人堂

高野山への入口は、高野七口と言われるように、七つの入口があり明治5年に女人禁制が解かれるまで高野山に入れない女性の為に参籠所が入口にありました。現在は不動坂口の参籠所が唯一残っています。

## 真田庵

日本歴史の戦乱の中で、名将として活躍しながら、悲運の歴史をたどった真田昌幸・幸村父子の屋敷跡といわれており、その歴史が偲ばれる場所です。

## 世界遺産 紀伊山地の霊場と参詣道

「高野山、熊野三山、吉野・大峯」の3つの山岳霊場と、そこにいたる「高野山町石道、熊野参詣道、大峯奥駈道」の参詣道及び周辺を取り巻く「文化的景観」が平成16年7月に世界遺産に登録されました。



## 慈尊院

弘法大師の母親の住居とされたところで、大師は母の没後、ここに廟を建て、弥勒菩薩を安置し、弥勒菩薩を安置しました。文明6年(1474)紀の川の水害を予測して現在地に移しました。世界遺産の一つです。

## 高野山町石道

約1200年前、弘法大師が高野山を開いたとき、木の傘塔婆をたてて道するべをつくった道で九度山町の慈尊院から高野山の大門、壇上伽藍までの180町(約20km)にも及ぶ道程に、朽ちた木の代わりに3m30cmの花崗岩石造り五輪塔形の町石が1町(約109m)ごとに建てられました。石の下をくぐれば長生きすると伝えられる袈裟掛石や、押し石、鏡石など千年の歴史をもつ古道は「歴史の道として、絶好のハイキングコース」です。

## スタート地点までの電車情報

路線	駅名	所要時間	乗り換え
大阪	なんば駅	南海高野線・快急 約65分	学文路駅
大阪	なんば駅	南海高野線・快急 約70分	九度山駅
大阪	なんば駅	南海高野線・快急 約82分	上古沢駅
大阪	なんば駅	南海高野線・快急 約87分	紀伊細川駅
和歌山	橋本駅	南海高野線 約8分	学文路駅
和歌山	橋本駅	南海高野線 約13分	九度山駅
和歌山	橋本駅	南海高野線 約25分	上古沢駅
和歌山	橋本駅	南海高野線 約30分	紀伊細川駅

## 乗り電車の情報

路線	駅名	所要時間	乗り換え
大阪	なんば駅	約11分	高野山駅
大阪	紀伊細川駅	南海高野線・快急 約90分	なんば駅
大阪	上古沢駅	南海高野線・快急 約80分	なんば駅
和歌山	橋本駅	約11分	高野山駅
和歌山	紀伊細川駅	約5分	橋本駅
和歌山	紀伊細川駅	南海高野線 約30分	橋本駅
和歌山	上古沢駅	南海高野線 約25分	橋本駅



和歌山県  
橋本市

- 凡例
- 高野街道
  - 高野山町石道
  - 道標
  - 近畿自然歩道案内板
  - トイレ
  - おすけルート
  - 町石
  - 信号
  - バス停
  - 南海電鉄